

魅力ある授業のために（単元化例） 言語文化 読むこと

1 単元の目標

(1) 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。

〔知識及び技能〕(2)イ

(2) 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。

〔思考力、判断力、表現力〕B(1)エ

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	言語文化	学年類型	1年	単位数	2単位	話すこと 聞くこと		
単元名	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えて、解釈しよう （『古事記』）					書くこと		
						読むこと	○	
単元の評価規準								
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。		「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。		作品について文化的背景をもとに、話し合う活動を通して、当時の文化を粘り強く調べる中で、自らの学習を調整しようとしている。				
主たる言語活動								
日本武尊を一人称とした文章に書き換える活動。								
時間	授業のねらい・主たる学習活動				重点項目			評価方法
					知	思	態	
1	古事記に書かれている内容を理解する。 ①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ②地図を用いて日本武尊の物語のあらすじを理解し、東国征伐の経を地図に記入する。 ③あらすじを参考に本文の現代語訳に取り組む。 ④『風土記 逸文』（尾張国 熱田社「日本古典文学大系2 風土記」所収）を併せて読み、熱田神宮縁起とのかかわりの理解を深める。				◎			・記述の分析 （現代語訳）
2	日本武尊の視点で本文の内容を書き換える。 ⑤古事記の本文を日本武尊の視点で書き換える。 ⑥できた作品について、4人グループで回し読みをして、質問や感想をグループ内で共有し、話し合う。 ⑦話し合った内容を踏まえて推敲し、自分なりの日本武尊像についてまとめる。 ⑧振り返りを記入する。					◎	◎	・記述の点検 （書き換え文） ・行動の確認 （話し合い活動） ・記述の分析 （推敲の跡が残ったワークシート 振り返り）

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不十分な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を的確に捉え、本文の内容を日本武尊の心情に即して適切に解釈している。	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	作品の内容を解釈している。